

投資者の皆様へ

2017年3月21日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

### SBI スリランカ短期国債ファンド(毎月決算型)の分配金につきまして

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2017年3月17日に決算を迎えました「SBIスリランカ短期国債ファンド(毎月決算型)」につきまして、分配金を下記の通りといたしましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

#### 1. 基準価額及び分配金額(3月17日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	分配金 (円)
SBI スリランカ短期国債ファンド(毎月決算型)	9,576	▲226	0

#### 2. 足元の市場環境と今後の見通し

本ファンドの主要投資対象ファンドを運用するSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントは以下の通りです。

##### 【足元の市場環境】

- スリランカ国債市場は、米国政策金利引き上げ(現地時間3月15日)等の外部環境からの影響も少なく、短期国債(現地通貨建て、残存1年)は概ね11%前後での推移となっています。
- 為替市場では、米ドル高を牽制する米政権からの発言を受けて、米ドル/円は年初の118円近辺から調整後、レンジ内での推移となっています。米ドル/円に概ね連動するスリランカ・ルピー/円についても、同様の推移となっています。なお、3月17日は、現地時間14日・15日開催の米連邦公開市場委員会(FOMC)後のドル安・円高進行を背景に、スリランカ・ルピー相場が対円で円高方向に振れたため、基準価額が下落いたしました。

##### 【今後の見通し】

- SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)(以下、当ファンド)においては、主に為替市場における円高の影響を受けて設定後に基準価額が調整したことなどを考慮し、今期の分配を見送ることといたしました。
- 今後は、為替市場が概ねレンジ内で推移する中、債券のインカム収益※を中心にファンドの収益が積み上がっていくことを想定しています。
- 次期以降の決算時における分配金水準については、投資環境や当ファンドの総合収益(トータルリターン)などを勘案し判断する方針です。

※保有債券の平均最終利回り9.75%(2017年2月28日時点)

当社では引き続きSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が運用する「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」を主要投資対象とすることにより、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## ファンドの費用

購入時手数料	購入申込金額に3.24%(税込)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.3%を乗じて得た額を、ご換金(解約)時にご負担いただきます。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年0.5886%(税抜:年0.545%)を乗じて得た金額とします。なお、当該報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。詳細は交付目論見書をご確認ください。
その他の費用 及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。※これらの費用は、監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

## ファンドにかかるリスクについて

### 【基準価額の変動要因】

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

#### <主な変動要因>

##### 債券価格・金利変動リスク

債券価格は、国内外の政治・経済情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。また、債券価格は金利変動による影響を受け、一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落します。これらの影響により債券の価格が変動した場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

##### 信用リスク

債券の発行体が財政難・経営不振、資金繰り悪化等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなる場合(債務不履行)、またはそれが予想される場合等、債券価格が下落することがあります。その場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

##### 為替変動リスク

実質組入外貨建て資産について、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を受けます。為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。特に新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、一般的に為替変動は大きいものになることも想定されます。当該通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

##### カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

#### 流動性リスク

投資対象ファンドが組入れる金融商品等の市場規模が小さく取引量が限られる場合などには、機動的に売買できない可能性があります。また、保有する金融商品等が期待された価格で処分できず、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

※リスクは上記に限定されるものではありません。

#### その他のリスク

<外国機関投資家への投資枠制限について>

外国機関投資家がスリランカの債券市場において、スリランカ・ルピー建てのスリランカ国債に投資を行う場合には、外国機関投資家等に投資枠制限が設けられています。当該投資枠の利用状況、スリランカ債券市場における取引規制の変更等によっては国際機関債、あるいは米ドル建てなどスリランカ・ルピー建て以外で発行された債券等への投資割合が高くなる場合があります。

#### 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。